

どんなことをしているの？

地域支え合い活動 活動メニュー

ここでは各団体が実施している支え合い活動の一例をご紹介します。
各団体が独自に行っている活動もあるので、お住まいの地域の団体がどのような活動をしているかなどの詳細は社会福祉協議会にお問い合わせください。

カフェ

介護予防とつながりづくりを目的に、カフェを月4回以上開催。運営は地域スタッフによる当番制で、挽きたてのおいしいコーヒーを飲みながら皆で楽しくおしゃべりしています。参加料は100円。
※地域によって、開催日時、料金設定が異なります。



食事会

介護予防とつながりづくりを目的に、送迎付きの昼食会を月2回開催。内容は体操・レク、脳トレ後に地域スタッフによる手作りお弁当を皆で楽しく会食します。参加料は400円。
※地域によって、開催日時、料金設定が異なります。



ちょいかせ（生活支援）

生活支援を目的に、高齢者などの生活をサポートする有償サービスです。買物付添やゴミ出し支援など、地域スタッフがサポートします。料金は30分300円。
※地域によって料金設定、活動メニューが異なります。



今年、伊美地区に、新たな支え合い団体「伊美ふらっと広場」が設立されました。これで国見町の全地区に、支え合い団体が設立されたこととなります。
令和5年度に公民館主催のスマホ教室を開講。そこで「居場所としてのカフェがあり、活動が拡大していきました。」「ふらっとカフェ」と名付けられたカフェの活動では、区を超えてのつながりが作られ、今年の2月からは、コーヒーのみならずマージャンも楽しめるという独自のメニューも追加。カフェのスタッフらが運営方法や地域課題を話し合う中で、これからの地域づくりのための課題も見えてきました。
既に国見町で活動していた竹田津・熊毛の両地区からの応援もあり、6月18日に正式に設立。9月30日に開催された国見町「語ろう会」では、これまでの活動報告を行いました。
現在は地区内の各行政区長をふらっとカフェに招待し、活動の周知を図っているほか、新たに食事会やちょいかせなどの取り組みを進めるための検討を重ねています。



新設！伊美ふらっと広場



調査の前に行われた調査員説明会。調査の趣旨の共通理解を図りました

はじまりは学習会
昨年度、支え合い活動を立ち上げた方々がいいます。西安岐地区の「にしあき元気会」は、支え合い団体の正式発足のため、地域の民生委員が主体となって結成しました。昨年7月から「らしを」を考える勉強会を開始。13.5時間にもおよぶ講座を開催して地域支え合いについて学び、今年4月から、集いの場であるカフェやミニデイなどを実施しています。また、ミニデイの送迎支援のため、地区での送迎支援の要綱づくりを行い、スタッフは安全運転者講習会にも参加。6月からは送迎支援も開始しました。

何が地域のためになるのか

今年8月、にしあき元気会では全戸訪問調査を実施しました。54人の調査員が2名体制で各世帯を訪問し、調査を行いました。



実際の調査の様子

帯を訪問し、調査の説明を行い、アンケートへの回答を依頼。地域住民にとって住みよい地域づくりを進めるため「元気かえ」と声を掛けながら調査を進め、547世帯の回答が集まりました。
アンケートでは回答者が必要としている生活支援や、回答者ができる生活支援、また支援サービスやカフェなどのニーズを調査。どんな困りごとがあるのか、これからどんな地域にしていきたいのかを丁寧にヒアリングしました。
調査の結果は専門家に分析を依頼。先日、10月29日に報告会が行われました。
このような全戸訪問の取り組みは、昨年度までに立ち上がったすべての団体が実施しています。全国的に見ても珍しい取り組みで、国東市の地域支え合い団体は先進事例として、他自治体や大学からも注目されています。

そして次へとつながっていく

「にしあき元気会」や、既に立ち上がっている団体の活動を手本として、西武蔵地区の民生委員らが中心となり、立ち上げの準備を行っています。
2か月に1回の頻度で学習会を開催。毎回30名が集まり、今年の3月からはカフェを同時開催中です。
今年の12月には「生活支援講演会」を開催計画。立ち上げに向けて、団体の規約を協議しています。



地域の頼れる味方

社会福祉協議会には、7人の生活支援コーディネーターと7人の地域支援サポーターが在籍しています。
支え合い活動の立ち上げから実際の運営のサポートまで、様々な支援を行っています。お気軽にお声がけください。



地域支援サポーターの皆さん



生活支援コーディネーターの皆さん